

新聴協（福祉）の主な出来事

1953年（昭和28年）

9月 新宿区内居住のろう者7名で、東京都ろう者協会新宿分会として発足した。
（別の記録では7月）初代会長に影山寛が就任した。
（当時の名簿には62名の記名がある）

1955年（昭和30年）

1月 中途失聴・難聴者団体「みみより会」発足。

1955年（昭和30年）

3月 東京都ろう者協会内部対立で東京聾啞協会結成、新宿区分会はその傘下に入るが、活動方針に分会制度がなく、区としての自主運営の形をとる。

1956年（昭和31年）

9月 東京都の団体統合。東京都ろう者協会。

1956年（昭和31年）

9月 東京ろうあ協会と東京聾啞協会が統合し、東京都ろう者協会となる。

1957年（昭和32年）

3月 3月3日「耳の日」と設定。

新聴協（福祉）の主な出来事

1958年（昭和33年）

- 4月 国立ろうあ者更生指導所(国立聴力言語障害センター) 開所（東京都新宿区戸山）
- 9月 この4月開所したばかりの国立ろうあ者更正指導所で、新宿区ろうあ会『創立5周年記念総会』開催。

1961年（昭和36年）

- 1月 ベル会館（中央ろうあ福祉会館）建設に厚生省（現：厚生労働省）から補助決定。
- 9月 社会福祉法人日本ベル福祉協会設立認可(厚生省〔現：厚生労働省〕）、日本ベル福祉会館の建設確定。

1963年（昭和38年）

- 4月 新宿区身体障害者福祉協会加盟（別の記録では、39年申込、41年6月11日認可とある）。
- 7月 新宿区安田生命ホールで新宿区ろう者協会創立10周年記念大会を開催。

1965年（昭和40年）

- 3月 日本ベル福祉会館完成（東京都目黒区本郷町112）
- 4月 東京都ろうあ者更生寮開所（身障者福祉法に基づくろうあ更生施設）

1967年（昭和42年）

- 1月 東京中野区立大和小学校での総選挙立会い演説会に全国で初めて手話通訳が付く。

1968年（昭和43年）

- 5月 ベル会館（社会福祉法人ベル福祉協会・山下春江理事長）の建物半分が経営難により使用差し止めの強硬封鎖。
- 10月 新宿四谷公会堂で、新宿区ろう者協会創立15周年記念大会を開催。

新聴協（福祉）の主な出来事

1969年（昭和44年）

10月『わたしたちの手話』（1）初行編集・発行全日ろう連、定価300円、192ページ。

1970年（昭和45年）『国連の国際教育年』

6月 社会福祉法人日本ベル福祉協会（山下春江理事長）が解散、ベル福祉会館は、競売で丸紅飯田株式会社が落札、1階事務所の全日ろう連に立ち退き要求。

1973年（昭和48年）

8月「東京都手話通訳派遣協会」（港区白金）が発足。
通訳派遣を専門とする協会の設立は全国で初めて。

1975年 昭和50年

4月 道路交通法施行規則の改正（運転免許の適性試験の基準の見直し）。
5月 東京都障害者福祉会館（三田）オープン

1978年（昭和53年）

4月 新宿区社会福祉協議会主催手話講習会開講

1979年（昭和54年）

4月 東京都聴覚障害者連盟結成。（新宿区ろう者協会加盟）
7月 国立身体障害者リハビリテーションセンターを設置（所沢市）〔国立身体障害者センター、国立東京視力障害センター、国立聴力言語障害センターを統合し、発足〕。
12月「民法11条改正」第90回臨時国会にて全会一致で可決成立。公布12月20日。
施行1980年6月20日、第11条の準禁治産者から「聾者、啞者、盲者」を削除。